

第3学年保護者の皆様

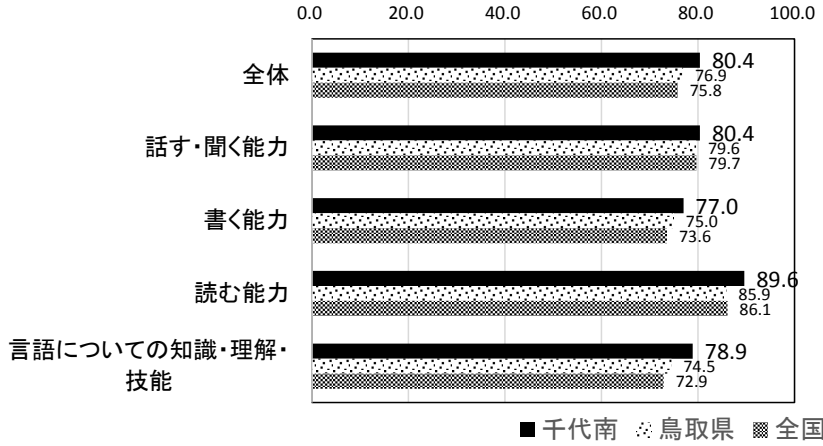
平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

鳥取市立千代南中学校

本年4月21日(火)に中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査について、個人票をお返しするとともに、本校の調査結果についてお知らせします。全国、鳥取県の集計結果と本校3年生の学力・学習状況の実態を比較しております。

比較のめやす ・高い 全国と比較して+6ポイント超 ・やや高い +3～+6ポイント未満
 ・同程度 ±3ポイント未満 ・やや低い -3～-6ポイント ・低い -6ポイント超

A問題(主として知識を問う問題)

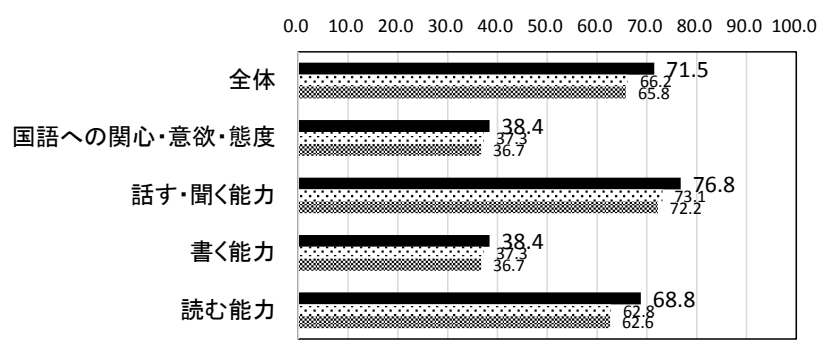


●全体の平均正答率は、やや高い結果となっている。

●観点別の平均正答率は、「書く能力」「読む能力」をみる問題において、やや高く、「言語についての知識・理解・技能」をみる問題において高い結果となっている。

●「話す・聞く能力」をみる問題において、同程度の結果となっている。

B問題(主として活用する力を問う問題)

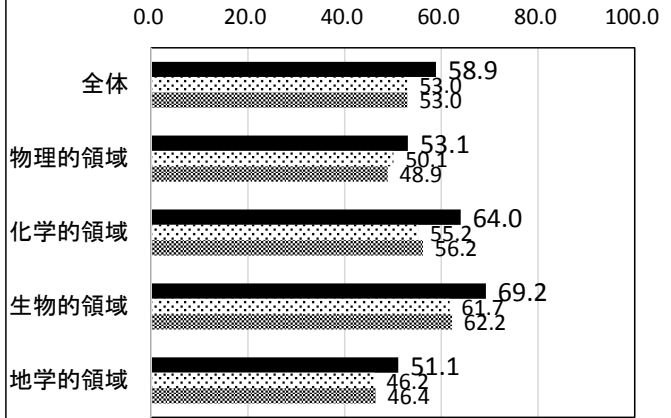


●全体の平均正答率は、やや高い結果となっている。

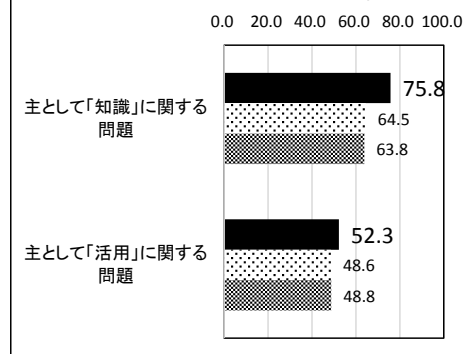
●観点別の平均正答率は、「話す・聞く能力」をみる問題において、やや高く、「読む能力」において高い結果となっている。

●「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」をみる問題において、同程度の結果となっている。

理科(問題全体と領域別の結果)



知識・活用別に分けてみた結果



●全体の平均正答率は、やや高い結果となっている。

●物理的領域と地学的領域は、やや高い結果となっている。化学的領域と生物的領域は高い結果となっている。

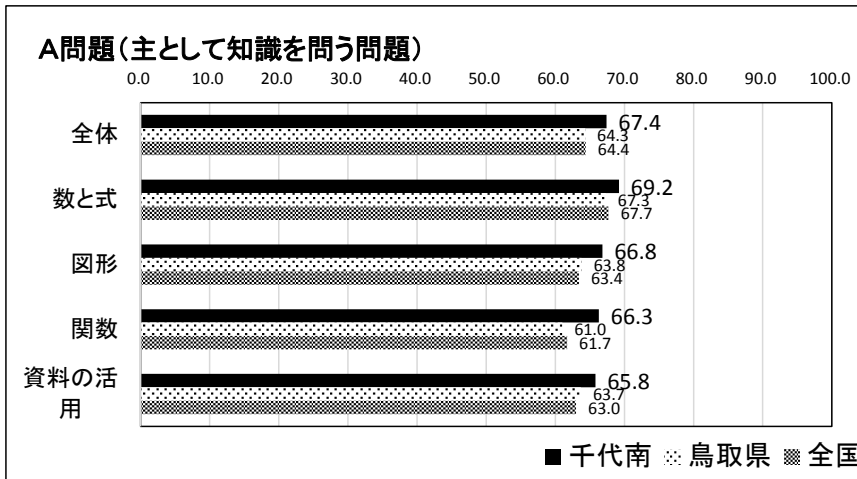
●「知識」に関する問題は高く、「活用」に関する問題はやや高い結果となっている。

国

語

理

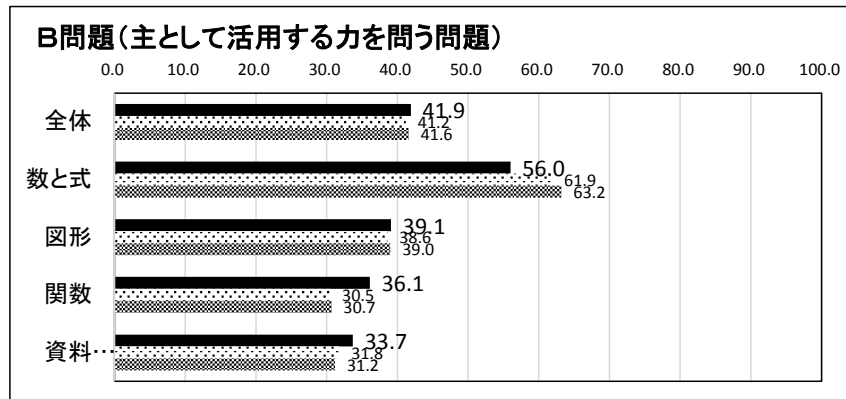
科



●全体の平均正答率は、やや高い結果となっている。

●領域別の平均正答率は、「図形」「関数」の問題において、やや高い結果となっている。

●「数と式」「資料の活用」の問題において、同程度の結果となっている。



●全体の平均正答率は、同程度の結果となっている。

●領域別の平均正答率は、「関数」の問題において、やや高い結果となっている。

●「図形」「資料の活用」の問題において、同程度の結果となっている。

●「数と式」の問題は、低い結果となっている。

十分に満足できるもの(肯定的評価が95%以上の主なもの)	全国と比べて満足できるもの(肯定的な回答が全国平均を15%以上上回る主なもの)	全国と比べて課題のあるもの(肯定的な回答が全国平均を下回る主なもの)
<ul style="list-style-type: none"> ○毎日朝食を食べている(100%) ○人の気持ちがわかる人間になりたい(100%) ○ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある(97.8%) ○家の人は授業参観や学校行事などに来る(97.8%) ○学級でみんなで協力して何かをやり遂げてうれしかったことがある(97.8%) ○学校の規則を守っている(97.8%) ○人の役に立つ人間になりたいと思う(97.8%) ○国語、数学の問題を最後まで解答しようと努力した(97.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段1時間以上勉強する(91.3%/+22.3) ○土日に2時間以上勉強する(78.2%/+21.4) ○学級で話し合いで決まりなどを決めていく(95.7%/+17.4) ○地域の行事に参加していますか(65.2%/+20.4) ○1, 2年の授業では学習のねらいとまとめを書いていた(93.5%/+19.8) ○1, 2年の授業では自分たちで課題を立てて、話し合いながら整理して発表する活動に取り組んでいた(82.6%/+16.9) ○総合的な学習の時間で、自分で調べたことを発表する活動に取り組んでいた(73.9%/+15.9) ○理科関係(勉強が好き、将来役に立つ、観察実験がすき・振り返りをしているなど、+15%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> △友達の前で自分の意見や考えを発表することが得意(30.4%/ -19.2) △国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように工夫している(41.3%/ -12.7) △数学の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考える △数学の授業の内容はよくわかる(60.9%/ -10.7) ・自分にはよいところがあると思う(63.1%/ -5) △難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する(65.2%/ -3.6) △毎日同じくらいの時刻に寝ていますか(71.1%/ -3.5)

学力・学習状況に関する学校の課題と取り組み

本校では、教科担当が調査結果を早く把握して指導に活かすために、学力調査終了後、関係職員が自校採点をしました。その時点では全国等の比較はできませんが、国語では、自分の考えを根拠を持って書くこと、数学では無解答が多いことという課題がわかり、各教科で対応してきました。さらに、数学では5月より、習熟の程度に応じた指導を行っており、今後も「数と式」の指導に対応していきたいと考えております。また、生活ノート(清流ライフ)を活用して、学習時間や3点固定の指導も継続していきたいと考えております。御家庭でも、家庭学習の習慣化について、引き続きよろしくお願ひします。